

第12回 昭和の森「親子田んぼ教室」

稲刈り

武田 宏子（千葉市）

日 時：2024年9月14日（土） 9：30～12：00 天気；晴れ 33℃

参加者：14名（大人7名、子ども7名）

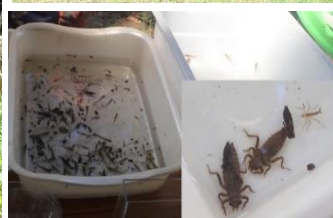
担当指導員：武田・山下、参加指導員：井上、ビオトープの会1名、管理事務所1名

田植から139日、いよいよ収穫です。相変わらずの猛暑を心配しましたが、子どもたちは元気。水分補給をまめに行うことをお願いしました。

最初にビオトープの会の岡山さんから、今年は草取り(6/29)後、稲の分けつがあまり進まず、雨風で倒れたりしたので、2と3のグループは大人田んぼの稲刈りを行うという説明がありました。稲の刈り方、束ね方、おだ掛けの仕方の説明を聞いて、鋸鎌をもって、スタート。今年3回目の田んぼなので、子どもたちは、泥深い田んぼを気にもせず、まっしぐら。最初は、田んぼにいる生き物に心奪われる子もいましたが、次第に、稲刈りに熱中！！親子で作業を分担して行う姿がほほえましい。グループを超えて、協力し合う姿も見られるようになりました。小3～小6までの子どもたちの積極的な働きぶりに感心しました。

稲もすっかり片付き、次は、生き物調査。それぞれに網をもって、田んぼや池の生き物をゲット。トンボやチョウも追いかけます。ホトケドジョウ、メダカ、カワニナ、オオタニシ、ヤゴ、ヌマエビ、シオカラトンボ、ノシメトンボなど、たくさん捕まえ、捕獲した生き物に触れたり、観察したり、たっぷり遊ぶことができました。田んぼや池には、たくさんの食べ物があるので、生き物がたくさんいることがわかりました。ゲットした生き物は元の場所に返してお別れ。

落ち穂を拾い、粃を取って一粒食べてみました。おいしい！！山下さんから、稲刈りからお米になるまでの農家の仕事の紙芝居があり、子どもたちもびっくり!! 大満足の日になりました。保護者からも、自然の中で貴重な体験ができたことに感謝という感想が寄せられました。



粃を剥いて食べたらいしかった。生き物といっぱい遊んで大満足